

医師を目指す学生の為の情報誌

因伯兔

いんぱくと

発行月：2016年8月

発行元：鳥取県民主医療機関連合会

鳥取民医連ホームページをリニューアルしました！

2016年6月にリニューアルオープン。随時更新中です。

ぜひご覧ください。



Q つどいって何？

民医連の医療と研修を考える医学生をつどい。全国から医学生が集まり、学習やフィールドワーク、交流等を行い、ともに学び、成長することを目的としています。事務局は学生で構成され、学ぶ内容や方法等を、学生自らが考え、実行します。つどいは1年で計4回開催しています。

全国の医学生が集まり学ぶ、「医学生をつどい(第37回)」がスタートしました！！



6月25～26日に、第37回医学生をつどいが東京にて開催されました。「医学生が憲法を考える意味」と題し、日本弁護士連合会より伊藤真弁護士が講演され、憲法の理念や憲法を学ぶ意義等についてお話がありました。

鳥取大学からは2名の学生が参加。主権者として行動する意義を感じ、「選挙に行こうと思いました」という声や「今まで医学

と憲法が関係あるか分からなかったが、権利という点で関係する大事な話だと感じた」と話す学生など、様々な学びとなりました。次回は10月9～10日の開催予定です。医学生であればどなたでもご参加できます。ご興味のある方は、是非お知らせください。HPよりお問合せ可能。

中四国 医系学生対象企画！ 「中四国医系学生をつどい」 In 鳥取

全国の医学生をつどいとは別に、中四国では医系学生（薬学生や看護学生も参加可能）を対象につどいを開催しています。今年は5月14～15日に米子市で行われ、およそ30名の学生が集まりました。テーマは「山陰の地域医療に触れてみよう」。一日目は、米子医療生協の診療所などで分科会を行いました。貧困や認知症、地域住民との関わりなど、米子医療生協の取り組みを様々な切り口で読み解き、地域医療とはどんなものか学びました。



裏へ続く

二日目は、国際ファミリープラザにてシンポジウムを開催。米子医療生協から、医師、看護師MSW、ケアマネジャー、事務の5名で、地域包括ケアの問題点と今後の課題についての討論を行いました。参加した学生からは「地域医療のイメージがついた」「将来の医師像の参考になった」という感想が聞かれました。毎年一度開催される中四医系学生つどい。医系学生であればご参加いただけます。次回日程は決まり次第お知らせします！



県内外からたくさんの医学生さんが 実習や見学に来ています。

病院 実習

6月に東京医科歯科大学より4名来られ、脳外科や外科等の実習を行いました。また、今年も5月中旬から7月に鳥取大学6年生の授業の一環である臨床

実習2の受入を行い、其々1カ月間の長期実習に2名来られました。7月から8月にかけては長期休暇を利用し、昭和大学より1名、大阪大学より1名、鳥取大学より4名、また鳥取県主催のサマーセミナーにて2名が実習参加予定となっています。

鳥取生協病院や米子での診療所実習を通じ、鳥取の医療の現状やそれに向き合う医師の姿を見てみませんか？



中学生職場体験 & 高・予備校生 医師体験



毎年、春・夏・冬に開催の鳥取、米子医師体験に加え、今年には湯梨浜中学校より職場体験の受入を行いました！

職場体験の目標は、医療職を知り興味を持ってもらうこと。医師を始め、看護師や検査技師、作業療法士ほかと交流、体験を行いました。体験では生徒の皆さんが積極的に質問し、仕事内容ややりがい、大変なところなどを聞き取っていました。また、医科だけでなく、歯科体験も行い、自分の歯型をとったり、ダミーの歯を削ったりしました。



高校生・予備校生の医師体験は現在開催中です！こちらプログラムに体験を取り入れ開催予定です。ご参加お待ちしております。詳細はホームページへ！